

2018年
クイーン倶楽部だより 2月号
第180号

ERN 有限会社エコ・ライス新潟
新潟県長岡市脇川新田町字前島970-100
TEL 0258(66)0070 FAX 0258(66)0447
URL <http://www.eco-rice.jp/>
E-mail office@eco-rice.jp

長岡市 表町小
学校田をつくろう!
みんなで作った米で
初摺り
米粉クッキー作り!



やなせたかしさん作 新潟県の米粉普及のキャラクター「コメパンマン」も米粉クッキー作りに特別参加



テスター初摺機で玄米に



育てた米で米粉にする



パティシエがクッキーの実演

校庭の隅にある学校田で5年生が育てたお米を、「初摺り」「精米」「製粉」を一度に体験しました。そして、最後は米粉クッキーを焼き上げ美味しく食べました。当社はこれからも食育を応援します。※小学校の許可を得て写真を掲載しています。



中村 信也(なかむら のぶや)

医学博士。東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、「食と医療」の医療薬膳研究の第一人者として活躍中。

ドクター "N" の 私にも一言言わせて

その 34

※ドクター…英語で博士の意味

高介護者に自立支援は成立するのか

本日の新聞に「介護報酬 自立支援に重点」とありました。平成30年度の介護報酬改定の重点項目についての記事です。

4 第柱があつて、地域包括ケアシステムの推進、自立支援、重度化防止、多様な人材確保と生産性の向上、介護サービスの適正化の四点が記載されていた。

私は、地域包括で自立支援ができるのか疑問である。特に、リハビリで可能ということに疑問を感じています。自立支援はあくまでも一人立ち生活の獲得を目的としますが、それはリハビリで一生懸命にやればかなえると思われている人が多いようです。実現性はヒトによりま

す。介護には二グループがあります。要支援と要介護1・2のグループ、要介護3以上のグループです。前者のグループでは自立支援で独り立ち、独り立ち生活が望めますが、後者グループには難しいと私は思っています。

私たちの研究では半年以上介護度混合の18名に栄養・運動介入して一生懸命やってきましたが、介護度も日常生活動作(ADL)も全く上昇は見られませんでした。全員悪化が現状維持かやつとでした。

現在の介護保険でのリハビリは、介護度が悪化したら数万円介護報酬が上昇、改善したら減額という致命的欠陥があります。馬に人参の方式で改善者への報酬方式にしても高要介護者には改善の期待は無理と思います。なぜなら、高要介護は沈みゆく太陽で、悪化を防ぐのが精一杯だからです。

従って、介護度3以上グループはリハビリは不要で、清拭や口腔衛生管理などに重点を移すべきと考えます。つまり、快適なる環境提供が介護の真髄です。福祉は生活快適場の提供であり、高要介護へは福祉で、低要介護者へのリハビリは医療となります。

そろそろ介護保険は無駄を省くべき時機にきています。伸びゆく社会保障費をどう抑えてゆくかが大きな鍵となつてゆきます。